

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	淀川区
学校名	大阪市立新高小学校
学校長名	柴原 信彦

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に关心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・新高小学校では、第6学年109名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

本校の平均正答率は、国語科が70ポイント、算数科が58ポイント、理科が59ポイントであった。国語科・理科において、大阪市平均・全国平均を上回った。また、算数は、大阪市平均・全国平均と同ポイントであった。その結果より、国語・理科においては、学力の定着が図られていることが分かった。平均無解答率は、国語科においては、大阪市平均・全国平均よりも低い数値で、粘り強く取り組んでいることがわかる。一方、算数科・理科においては、大阪市平均・全国平均よりも高い数値を示しており、算数・理科に対して、苦手意識をもつことにより、解答を諦めている児童の存在が明らかになった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】 今年度は、「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」、「(2)情報の扱い方に関する事項」「C 読むこと」のそれぞれの項目で、大阪市平均・全国平均を上回った。一方で、「(3)我が国の言語文化に関する事項」は、大阪市平均・全国平均を下回った。また、児童質問紙「国語の勉強は好きですか」、「国語の授業の内容はよく分かりますか」のそれぞれの項目において「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合が全国平均・大阪市平均よりも上回っている。昨年度より、「学力向上支援チーム事業」において、国語科について、指導を受け、授業力の研鑽を重ねた成果と考える。

【算数】 今年度は、「B 図形」、「D データの活用」の項目で、大阪市平均・全国平均を上回った。一方で、「A 数と計算」、「C 測定」、「C 変化と関係」のそれぞれの項目で、大阪市平均・全国平均を下回った。児童質問紙「算数の勉強は好きですか」の項目において、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合が全国平均・大阪市平均よりも下回った一方、「算数の授業の内容はよく分かりますか」の項目においては、上回った。

【理科】 今年度は、すべての項目で、大阪市平均を上回った。うちB区分「生命」を柱とする領域は、全国平均も上回った。児童質問紙「理科の授業の内容はよく分かりますか」の項目において、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合が全国平均・大阪市平均よりも上回った。

質問調査より

児童質問紙において、「自分には、良いところがあると思いますか」の項目において「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合が今年度は、全国平均・大阪市平均よりも上回っている。「将来の夢や目標を持っている」、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目において「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合が、全国平均・大阪市平均よりも上回った。引き続き、将来就きたい仕事や夢、自分の未来像等について考えることができるよう、キャリア教育の充実や教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の人材を含めて活用しながら効果的に行っていく。「人が困っているときは、進んで助けていますか」の項目において「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合が94%で全国平均・大阪市平均程度であった。児童の思いやりが感じられる。

今後の取組(アクションプラン)

校訓を「明るく正しくたくましく」とし、学校教育目標を「生きる力」を育む教育活動を推進する」としている。自尊感情を高められるように、ペア学習やグループ学習、縦割り活動において認め合える環境づくりを目指す。また、まずは、「個別最適の学び」や「協働的な学び」を実現させる。そのために、大阪市内外の研究会での実践を取り入れたり、学力向上推進に関する大阪市の施策を活用したりして授業を改善していく。今年度も、研究教科を「外国語」としているが、引き続き、昨年度までの成果を生かしながら、「学力向上支援チーム事業」のスクールアドバイザーによる教師力向上に向けた教員への指導も活かしながら、更なる授業改善に努めていきたい。そして、朝の学習や自主学習、読書活動等を推進しながら、基礎・基本の充実に向けた取り組みを継続して行っていく。それに加えて、ICTやデジタルドリル、学習教材データ等をより一層活用していく。児童に関わる保護者や地域、幼稚園や中学校、関係機関等との連携も進めていく。

【 全体の概要 】

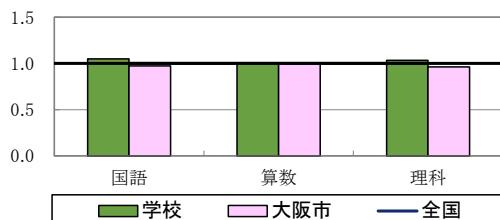
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	70	58	59
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

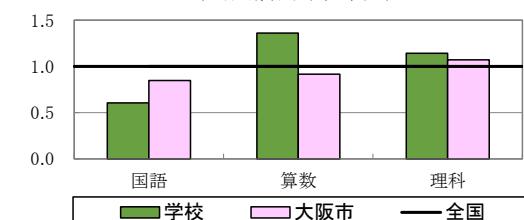
平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	2.0	4.9	3.2
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



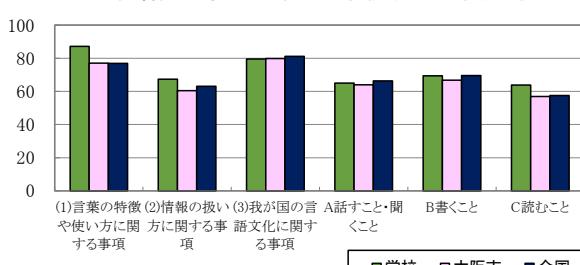
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	87.2	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に関する事項	1	67.3	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	79.6	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	65.0	64.0	66.3
B 書くこと	3	69.4	66.7	69.5
C 読むこと	4	63.8	56.9	57.5

【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	61.4	62.7	62.3
B 図形	4	57.3	56.4	56.2
C 測定	2	53.0	54.9	54.8
C 変化と関係	3	57.0	58.2	57.5
D データの活用	5	64.2	61.9	62.6

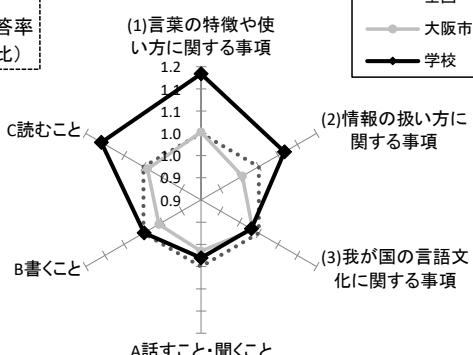
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



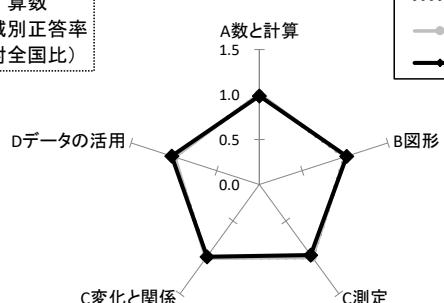
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

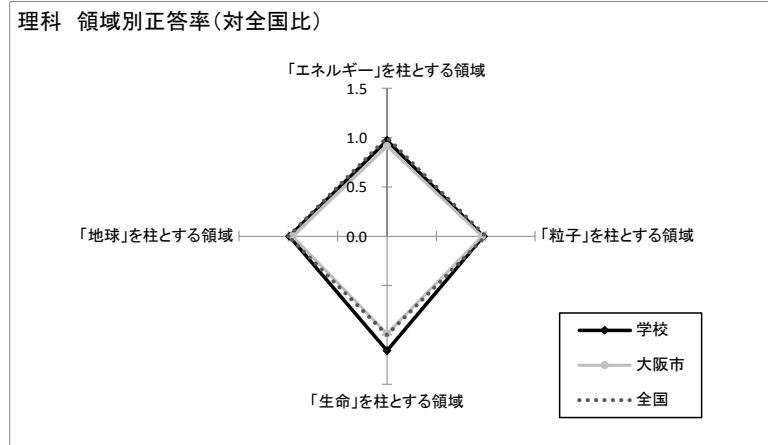
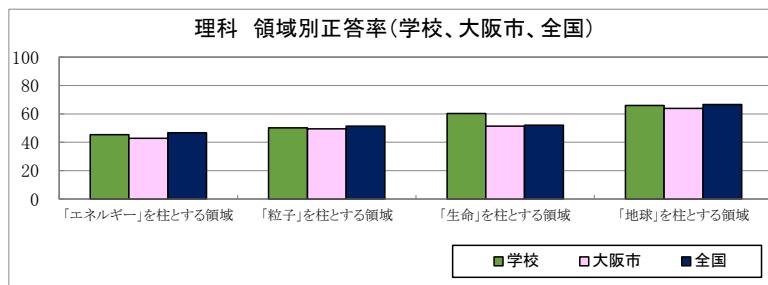


算数
領域別正答率
(対全国比)



【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	45.3	42.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	50.2	49.5
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	60.3	51.4
	「地球」を 柱とする領域	6	66.0	63.8



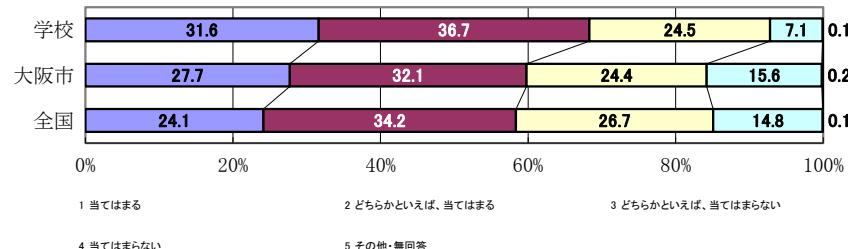
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

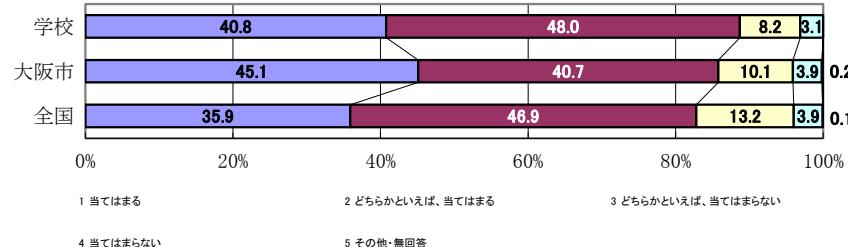
45

国語の勉強は好きですか



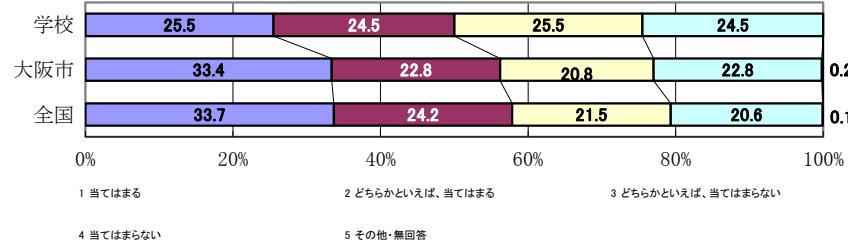
46

国語の授業の内容はよく分かりますか



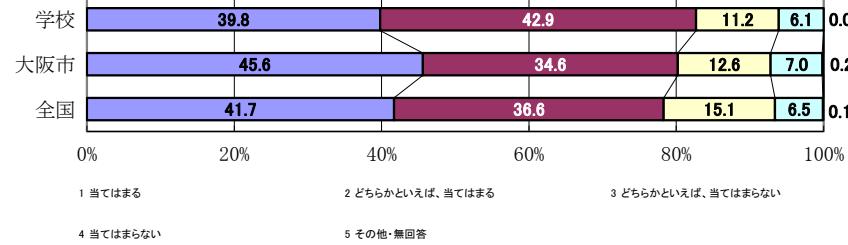
53

算数の勉強は好きですか



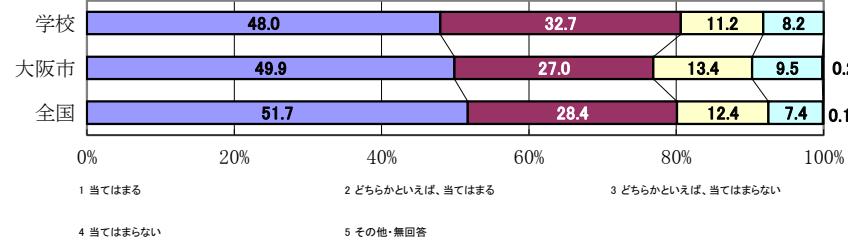
54

算数の授業の内容はよく分かりますか



61

理科の勉強は好きですか



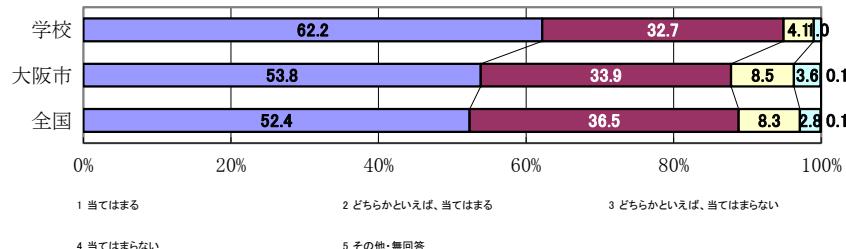
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

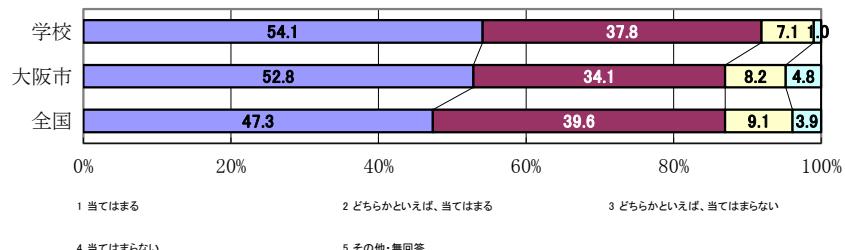
62

理科の授業の内容はよく分か
りますか



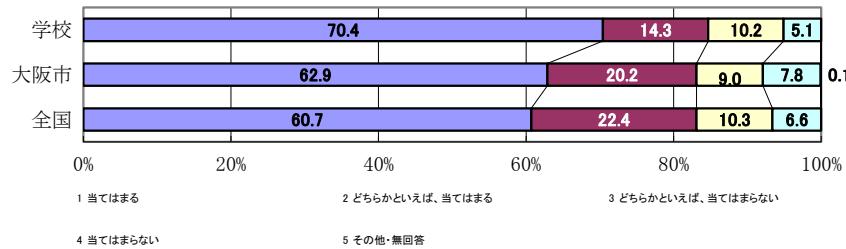
5

自分には、よいところがあると
思いますか



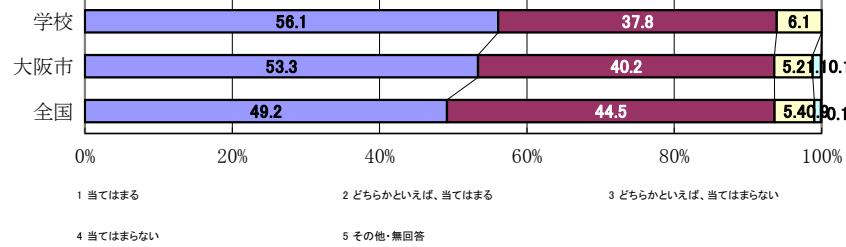
7

将来の夢や目標を持っていま
すか



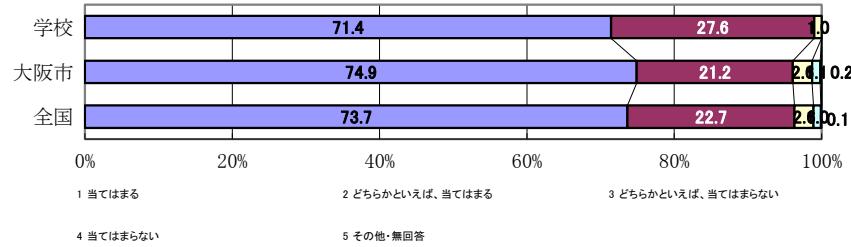
8

人が困っているときは、進んで
助けていますか



11

人の役に立つ人間になりたい
と思いますか



学校質問より

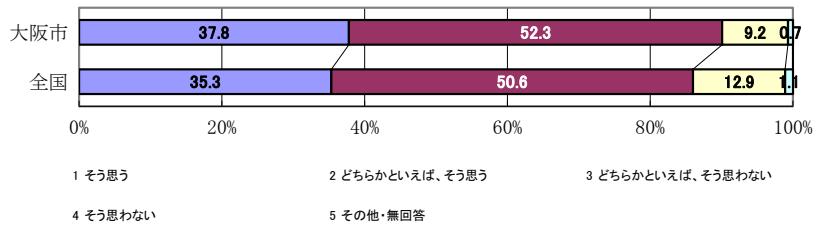
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

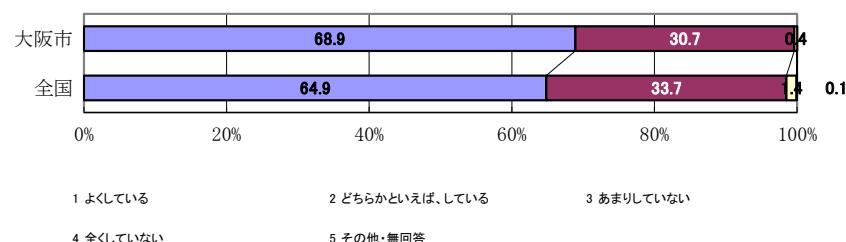
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

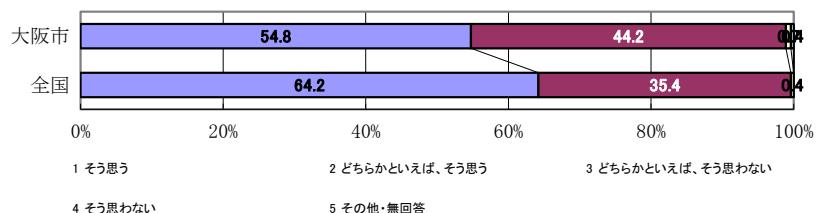
学校 「どちらかといえば、している」を選択



21

学校運営上の課題への対応に当たっては、各教職員(支援スタッフを含む)の専門性を活かせるよう適切な役割分担や連携協働をしていますか

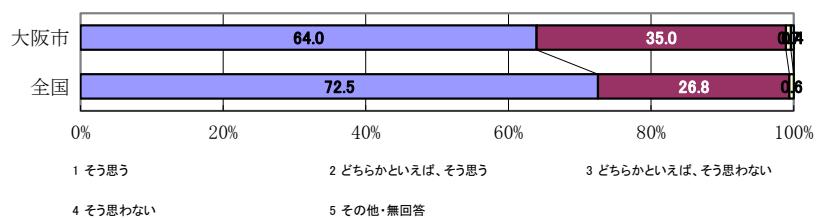
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



23

教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していると思いますか

学校 「そう思う」を選択



80

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択

